

フォト・ジャーナリスト  
山本宗補 写真展

# なじよすべ

詩と写真でつづる 3・11

ペットボトルの水道水 福島市が 売り出した  
すると 世間はこう 言うんだ / カルト そのもの もう犯罪  
ストロンチウムは 測ったの プルトニウムは 出でないの  
フクシマ県を 閉鎖しろ  
なじよ すべなあ  
おめさん方よ  
確かに オレも食わねえし / 飲んでくれとも 言わねえが  
悩む ころに 浴うてくれ / オレたちに 欲しいのは  
痛みを 分かつ ころだよ

家族を退避させ、保養キャンプを続け、福島のいまをつづる

詩人●関久雄。

原発事故後の福島の人々や情景を追い続ける

写真家●山本宗補。

## 忘却は過ちを招く。

二人の不思議なコラボレーションが、観る者の感情を呼び覚ます。

\* 2020. 3. 5(木)・6(金)・7(土)9:00~17:00 ▶ 8(日)9:00~15:00

\* 吉井文化会館ギャラリー 〒 : 高崎市吉井町吉井 285-2 ☎ : 027-387-3211

♿ : 上信電鉄 吉井駅下車・南方向に 300m ・徒歩 4 分

\* 無料 : この写真展は、来場の皆様のカンパで運営されます。

\* 主催 : 放射能から子どもを守ろう！吉井の会 (027-388-5585)

\* 後援 : 高崎市、高崎市教育委員会、上毛新聞社、朝日新聞社前橋総局、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局